

熱田区障害者自立支援連絡協議会 地域だより 11月号

令和2年11月15日発行

新型コロナウイルスの感染者が少しずつ増加し、大村知事は2日夕方の記者会見で「第3波が来たを受け止めている」と述べられています。熱田区障害者自立支援連絡協議会は、マスクの着用や手洗い、手指消毒、換気や密を避けるなど、ウィズコロナの生活を継続しながら、できることを広げる活動をしていきたいと思えます！！ 地域だよりは熱田区役所ホームページにも掲載されています。皆様ご覧ください！！

運営会議報告

10月8日(木)開催

児童連絡会については、12月に連絡会の再開を予定しています。再開に向けて現状や課題についてのアンケートを実施してまとめています。

今年度行事の開催については難しい状況ですが、来年の5月くらいを目標に、開催方法などを工夫し、エンジョイフェア開催について検討しています。

区内のちょっといい話

12月3日(木)～12月9日(水)は障害者週間です。

障害者週間にあった〇バザーを開催します！

日時：12月3日(木) 10:30～14:30

場所：イオンモール熱田 1階熱田広場 (熱田区六野1-2-11)

手作りの授産製品の販売を行いますので是非遊びに来て下さい♪



あつたかつぶやき

「災害に備えて必要な支援の仕組みを作ろう！」

台風、ゲリラ豪雨、南海トラフ巨大地震、津波などの災害発生の際に障害者は孤立します。無力です。在宅の避難行動要支援者に対して災害の来る前、つまり、平時の今こそ準備しておけば、尊い命を失うことは、なくなると思います。

1. マップで認識する。

避難勧告が発令された時に「避難する」と判断するためには、自宅の災害の危険度をしっかりと把握しておくことが必要です。そこで、ハザードマップの内容を十分に在宅の障害者本人に認識しておいてもらうこと(視覚障害者なら、マップの録音版、触読版を利用する。)

2. 市から緊急速報を送信する。

避難準備(警戒レベル3)が発令された時には、名古屋市から直接登録した在宅の障害者の携帯電話に避難に関する情報を送信する。逃げ遅れることを防げます。

(来月号へ続く)

熱田区身体障害者福祉協会 松岡信男

区内事業所情報

サービス種類／就労継続支援 B 型事業所

法人名：Man to Man passo 株式会社

事業所名：パッソ工房



住所：〒456-0022

熱田区横田一丁目 11 番 6 号 フジ神宮ビル 2F

TEL：052-678-3398 FAX: 052-253-6038

ホームページ

E-mail：passo-k.atsuta@mmg.jp

公共交通：JR「熱田駅」より徒歩 5 分、地下鉄「神宮西駅」より徒歩 7 分



開所日：月～金曜

時間：10:00～16:00

定員：20 名

利用者の主たる障害状況：身体・知的・精神・発達

事業所の特徴・PR

一人一人の時間軸を理解し、短時間から始めてみる事が出来る事業所です。「基礎学力」「専門知識」に加え、それらをうまく活用していくための「社会人基礎力」を意識的に育成し、工賃向上をかけた、障がい者自らが、自発的に動かす事業所作りを目指します。



活動内容紹介など

自主製品の創作・販売

壁紙を使った商品や季節に合ったアクセサリー制作を行います。

自分のアイデアを生かし、新しい商品として創作していくことができます。販売にも携わることができます。

軽作業

ゴムのバリ取りやシール貼り、箱の組み立てなどの作業やデータ入力の作業、本のクリーニングなどの軽作業をすることで、自分に合った作業を見つけ、責任感や達成感を感じる事ができます。



事務局

熱田区役所福祉課

熱田保健センター保健予防課

熱田区社会福祉協議会

熱田区障害者基幹相談支援センター



発行元

熱田区障害者基幹相談支援センター

〒456-0022

名古屋市熱田区横田二丁目 4 番 16 号

TEL052-678-5505 / FAX052-681-7052